

特定外来生物「セアカゴケグモ」に注意して下さい。

セアカゴケグモは、オーストラリア原産のクモで毒を持っています。セアカゴケグモは外来生物法に基づく特定外来生物に指定されており、飼育・運搬等が原則禁止されています。日本では、平成7年に大阪府内で初めて発見され、その後各地で確認されています。

茨城県内では、平成25年1月23日に神栖市東和田で初めて発見されました。今後、県内各地で発見される可能性がありますので、十分注意して下さい。

～セアカゴケグモについて～

【特徴】

次の特徴を押さえて、セアカゴケグモのメス(オスは無害)を、判別して下さい。

○足は何本ありますか。

クモ:8本(身体は頭胸部・腹部の二節) 昆虫:6本(身体は頭・胸・腹の三節)

○大きさ、身体の色、背中模様を確認して下さい。

- ・成体のメスは体長(脚を含まない)が約0.7～1cmで、全体が光沢のある黒色で背中に目立った赤色の帯状の模様がある。
- ・成体のオスは体長が約0.4～0.5cm、腹部の背面は灰白色をしている。
- ・毒を有するのはメスのみであり、オスは無害である。

○卵のう(クモの卵をくんだ袋状の卵膜)の形、大きさを確認して下さい。

- ・卵のう(中に数百個程度の卵が入っている)は直径約1～1.5cmで乳白色である。

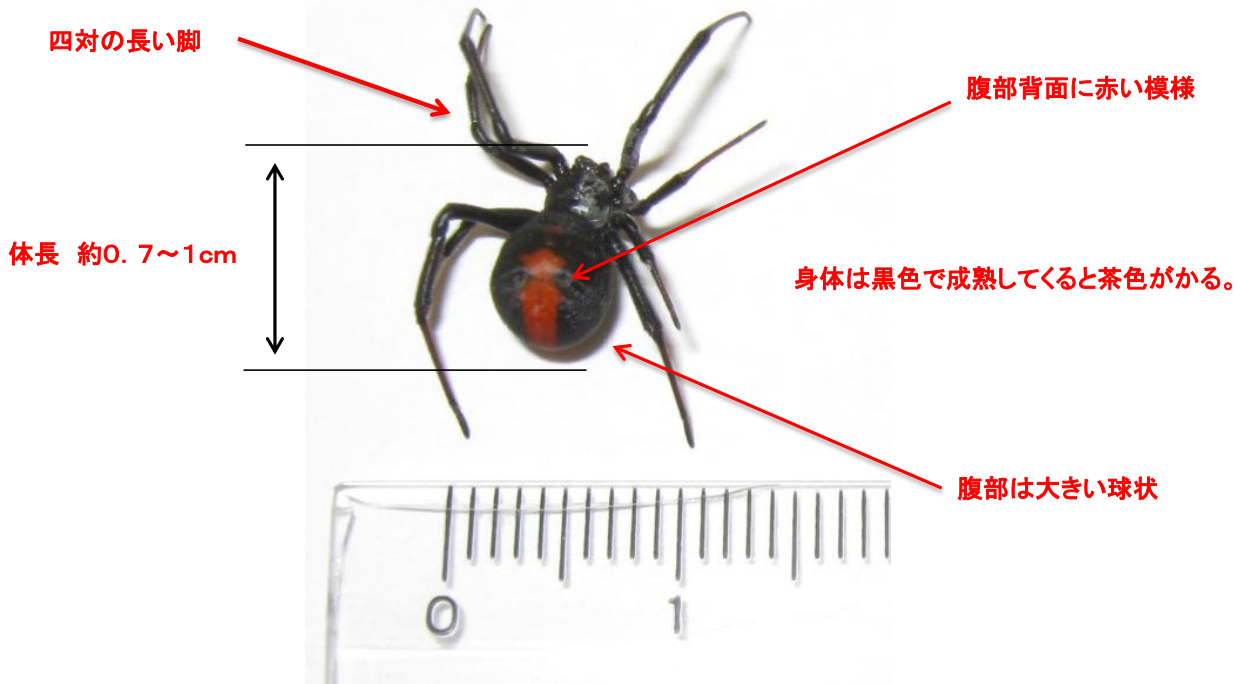


図1 メスの大きさと特徴



図2 セアカゴケグモのメスとオスの違い

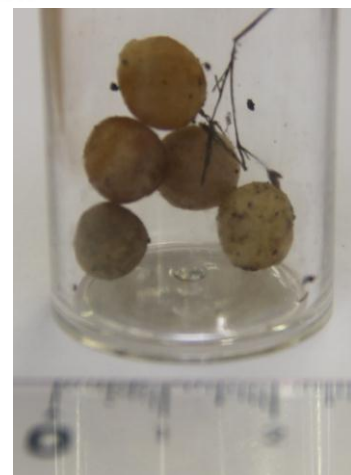


図3 セアカゴケグモの卵のう

※生体の観察は大変危険ですので、必ず殺虫剤等で殺した後のクモで行ってください。

特定外来生物「セアカゴケグモ」に注意して下さい。

【生息場所】

日当たりの良い温かい場所で、地面や人工物のあらゆる窪みや、裏側、隙間に営巣します。

具体的には次のような場所に生息しています。

- ・排水溝の側面やふたの裏
- ・花壇のまわりのブロックの窪みや穴、プランターと壁との隙間、植木バチ、プランターの持ち手や裏
- ・自動販売機の裏、クーラー室外機の裏、浄化槽ブロアーカバーの内部などの人工的な熱源の周り

【習性】

基本的におとなしく、攻撃的ではありません。ただし、素手でさわったり、捕まえたりしようとすると、咬まれることがあります。

【その他】

- ・セアカゴケグモは、港湾地域またはそれに隣接する地域で多く発見されており、コンテナ等に付着して侵入してきた可能性が高いと考えられています。
- ・国内では、貨物やコンテナ、建築資材、自動車等に営巣したものが人為的によって運ばれた結果、生息域が広範囲に拡大されたものと考えられています。
- ・セアカゴケグモと間違われやすいクモや昆虫として、オオヒメグモ、ゴマダラヒメグモ等があります。

～駆除方法～

セアカゴケグモを見つけても、**絶対に素手で触らず**、次のことに注意してセアカゴケグモを駆除してください。

- ・セアカゴケグモによる咬傷事故を防止するため、**長袖・長ズボン・長靴等裾じまいのよい服装に、必ず軍手等手袋を着用して、素肌を出さないこと。**
- ・火箸や菜箸、ピンセットなどを用い、**クモに直接触らないこと。**
- ・セアカゴケグモ(メス)を発見した場合は、**家庭用殺虫剤(ピレスロイド系殺虫剤)を噴霧するか、靴で踏みつぶして、その場で駆除すること。**
- ・卵のうに対しては、殺虫剤の効果が十分でないので、棒きれ等でクモの巣ごとからめ取り、その場で焼却するかビニール袋にいれて**完全に踏みつぶすこと。**

～咬まれたときの対応について～

○咬まれたときの症状

- ・はじめはチクツと針でさしたような痛みを感じます。
- ・通常は、咬まれた部分のまわりが腫れて赤くなるという局所症状でおさまります。
- ・悪化する場合には、多量の汗をかいたり、さむけ、吐き気、呼吸困難などがあらわれることもあります。

○咬まれたときの応急処置と病院受診

- ・万一クモに咬まれたら、余分の毒を温水や石けん水で洗い落とし、アイスパックで冷やします。
 - ・**できるだけ早く病院に行って治療を受けることが大切です。**
- (病院には咬まれたクモを殺して持参してください。より適切な治療につながります。)

～対策～

- ・外で作業をするときは、手袋をしましょう。
- ・不用意に側溝等の隙間に手を入れないように注意しましょう。
- ・クモの生息しそうな場所は、こまめに清掃したり整理整頓したりして、セアカゴケグモの住みにくい環境づくりをしましょう。

詳細は、以下のホームページでもご覧いただけます。

○外来生物法(環境省)

<http://www.env.go.jp/nature/intro/>

○侵入生物データベース／セアカゴケグモ(国立環境研究所)

<http://www.nies.go.jp/biodiversity/invasive/DB/detail/70020.html>

○セアカゴケグモ咬症とは(2013年2月1日)(国立感染症研究所)

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/3150-lh-intro.html>

○特定外来生物同定マニュアル／クモ・サソリ類(環境省)

<http://www.env.go.jp/nature/intro/4document/manual/konchu.pdf>

○セアカゴケグモ・ハイイロゴケグモのチラシ(環境省)

http://www.env.go.jp/nature/intro/5pr/files/r_gokegumo.pdf